

ゼラチンスポンジと金属コイルを用いた経皮経肝門脈塞栓術の有効性の評価に関する情報公開

1. 研究の対象

2012年1月1日から2015年10月31日までに、拡大肝切除術前が予定されている患者に対して、ゼラチンスポンジ細片と金属コイルを用いてPTPEが施行された方

2. 研究目的・方法

当院で施行されている拡大肝切除術前のゼラチンスポンジと金属コイルを用いた経皮経肝門脈塞栓術（PTPE: percutaneous transhepatic portal vein embolization）の有効性を評価する。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

電子カルテより臨床情報（年齢、性別、身長、体重、病名、化学療法の有無、手術日、術式、転帰、合併症の有無、肝臓体積の数値）、CT画像データ、血液検査データ等

4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。
ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

住所 〒466-8550 愛知県名古屋市昭和区鶴舞町65番地

電話 052-744-2327

研究責任者： 名古屋大学医学部附属病院放射線科 駒田 智大